

編集 後記

編集顧問 町田豊平
編集委員 郡 健二郎

小川秋實 秋元成太 村井 勝
藤岡知昭 大家基嗣

個人的に経験した内容がテレビなどで紹介されると何とも言えない感慨が湧きます。紹介された内容が自分の経験以上に踏み込んで取材されていたので、追体験したくなってきました。2月号の編集後記で暗渠を辿った経験をお話しました。原宿から渋谷に向かって歩いて開渠（暗渠が地上に現れる場所）を見つけた体験でしたが、NHKの番組プラタモリではこの渋谷の開渠から出発して暗渠を辿っていました。つまり、私と逆方向に同じ道を辿りながらタモリ氏一行は源流である新宿御苑に向かいます。暗渠の上を走る道が直角に折れ、とうとう新宿御苑に辿りつくところで、タモリ氏は堀を乗り越えます。新宿御苑の中を覗き込むと、鬱蒼とした深い木立の中にわき水を見つけました。「生きていると良いことがある」とは見つけたときのタモリ氏の弁です。ワクワクしながら番組を見て、「よし、今度行ってみよう」と意気込んだのですが、「さてよ、この直角に折れ曲がった道は見覚えがあるな」と感じました。実は私が毎日の通勤で通っている道でした。

新宿御苑を千駄ヶ谷口から入場し、わき水の場所から直角の道を眺めました。自分が毎日通っている道です。さっき通ってきたこの道を歩く人は誰もいませんでした。堀に向かって明るい光が差し込んでいて、線が引かれたように陰が道を分断していました。こうして眺めると、その道を歩いている自分の幻影を見よう、主体と客体が入れ替わり、鏡の向こう側か

ら自分を見るような感覚におそわれました。

番組の中で私が期待したことが1つあります。それは暗渠の中に入ることです。真っ暗な世界、カビ臭さと高い湿度、ネズミがいるかもしれない不気味さなど、確かに娯楽番組にはふさわしくないと考えるのは当然です。やっぱり取材はされませんでした。私は一度だけ暗渠の中の写真を見たことがあります。古い記憶に頼りながら、図書館でその写真集を探しました。畠山直哉氏の写真集「Underground」（メディアファクトリー、2000年刊）です。ストロボをたいて、光も音もない世界の静謐を写真におさめています。地球上ではないような世界、三脚に設置されたカメラとストロボが宇宙人に見えます。強いて地球上のものに譬えるなら、中世のカタコンベであり、時間の流れから逸脱した世界のようなようです。畠山氏の視点は暗渠に生きる生命であるコオロギ、蠅、ネズミ、コウモリにも向けられていました。これらの生物は私達が日常で見えるものと同じには見えません。水の汚れは華やかな原色である赤色、黄色のタールに彩られ、コンクリートにしみ込んでいます。近接で捉えた写真は現代アートのように、普段は光のない世界にこの原色が存在することの意味は何かを考えさせられます。最後の頁をめくり、厚いハードカバーを閉じたとき、私は決して実現することはない地下の旅を終えました。

（大家基嗣）

臨床泌尿器科（第65巻 第9号）（通巻779号）
2011年8月20日発行（毎月1回20日発行）

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 優

定価 2,835 円（本体 2,700 円＋税 5%）

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23
電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5709
(担当：登・安部)
販売部直通 (03) 3817-5659・5660

2011 年年間購読料			
冊子のみ	41,360 円	冊子+電子版	53,800 円
電子版/個人	41,360 円	電子版/共有	47,570 円
増刊号を含む 13 冊，税込，送料小社負担			

E-mail: rinpi@igaku-shoin.co.jp
振替口座 東京 00170-9-96693 番
印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005
広告申込所 (有)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2011, Printed in Japan.
- ・ 本誌に掲載された著作物の複製・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信（送信可能化権を含む）に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- ・ 本誌を無断で複製する行為（複製、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ・ **JCOPY** <㈱出版者著作権管理機構 委託出版物>
本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、(㈱出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。